

国体中国ブ  
ロック予選を兼  
ねた第19回中国  
カヌーシラロ  
ム・ワイルド  
ウオータ選手権  
大会が、5月30

## 巧みなパドルさばき

日野川で中国カヌー選手権



果敢に規制されたゲートを通る選手

日、日野川カヌーコース（下榎）で開かれ、県内外から選手が集まりました。大会は、川の上流から下り降りる速さを競うワイルドウオータ成年女子の部で、地元日野高校教諭の福本かな子さんが2年ぶり6回目の優勝。鳥取県選手の内、同男子の部で都田さん、規制されたゲートを通り抜けるスラローム成年男子の部で真島さんがともに2位に入りました。



ずらり並んだ力作に見入る来場者

## 文化の輪が広がり、活動も活発に

町文化団体連絡協議会が町文化展を開く

日ごろの学習成果を発表しようとして、5月28日から30日の3日間、町文化展が山村開発センターで開かれました。文化展は、町内の水墨画や書道、写真、陶芸など27団体による町文化団体連絡協議会（植木正枝会長）が、活動成果の発表と互いの親睦を深めようと企画。今回はその内11団体が、生け花

や墨彩画、活動報告などを記録した写真など約120点を展示。来場者はずらりと並んだ力作に感動していました。植木会長は「これを機に文化の輪が広がるとともに会員らの励みの場になればうれしいです」と話していました。

## 地域のつながりが何よりも大切

人権・同和教育学習講座

一人ひとりの人権について考え、明るいまちづくりを進めていこうと、5月31日、人権・同和教育学習講座が山村開発センターで開かれました。

この日は、病气や事故などが原因で生じる脳の機能障害「高次脳機能障害」について理解してもらおうと、同障害者家族会長森田多賀枝さんを講師に迎え

て話を聞きました。森田さんは「障害を持った人の復職や就労は難しく、社会にはもつと理解してほしい。病气や障害があっても自分のまちで暮らしたい。それには地域の人のつながりが大切」と活動を通じて感じたことを訴えました。



真剣に話を聞く参加者たち



地域住民約150人が自主的に参加

## みんなの手できれいに

カワコ公園美化住民一斉作業

6月6日、黒坂カワコ公園の清掃活動が、同公園で開かれました。子どもから高齢者まで地域の人が集まり、公園内の草刈りやゴミ拾いに汗を流しました。参加者は、みんなが使う公園だからきれいにしないとねなどと話していました。